

## 事業概要

- 国際的な頭脳獲得競争の激化の中で我が国が生き抜くためには、**優れた研究人材が世界中から集う“国際頭脳循環のハブ”**となる研究拠点の更なる強化が必須。
- WPI拠点がこれまでに培ってきた強みや生み出してきた成果を最大限に活かしていくため、**国際頭脳循環や拠点間連携**を更に推し進めていくことが重要。
- ➡大学等への集中的な支援を通じてシステム改革等の自主的な取組を促すことにより、**高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準を誇る「目に見える国際頭脳循環拠点」の充実・強化**を着実に進める。

-Science-  
世界最高水準の研究

4つのミッションの達成により  
世界トップレベル研究拠点を構築

-Reform-  
研究組織の改革

-Globalization-  
国際的な研究環境の実現

-Fusion-  
融合領域の創出

## 令和2年度予算(案)のポイント

- ①世界トップレベル研究拠点の充実・強化に向けた取組を引き続き着実に推進。
- ②WPI拠点としてこれまでに培ってきた強みや成果を最大限に活かしていくため、**国際頭脳循環の深化**や拠点間連携の強化を含む**成果の横展開・高度化**など、**WPIの価値最大化**に向けた取組を強力に推進。

## 【事業スキーム】

- 対象：研究機関における**基礎研究分野**の研究拠点構想
- 規模：最大7億円/年×10年  
(07, 10年度採択拠点は～14億円/年程度)
- 対象経費：人件費、事業推進費、旅費、設備備品等費  
※研究プロジェクト費は除く
- 事業評価：ノーベル賞受賞者や著名外国人研究者で構成される**プログラム委員会やPD・POによる丁寧かつきめ細やかな進捗管理**を実施

## (参考) プログラム委員会委員名簿 (令和2年1月現在)

＜委員長＞野依 良治	科学技術振興機構研究開発戦略センター長
川合 眞紀	自然科学研究機構分子科学研究所所長
黒川 清	政策研究大学院大学名誉教授
小林 誠	高エネルギー加速器研究機構 特別荣誉教授
鈴木 典比古	国際教養大学 理事長・学長
永井 良三	自治医科大学学長
中村 道治	科学技術振興機構顧問
濱口 道成	科学技術振興機構理事長
松本 紘	理化学研究所理事長
Rita COLWELL	メリーランド大学名誉教授
Richard DASHER	スタンフォード大学特任教授
Victor Joseph DZAU	米国医学アカデミー会長
Klaus von KLITZING	マックス・プランク研究所 固体物理学研究所部局長
Chuan Poh LIM	シンガポール食品庁長官
Harriet WALLBERG	カロリンスカ研究所教授
Jean ZINN-JUSTIN	フランス宇宙基礎科学研究所学術顧問

## 【WPI拠点一覧】 ※令和2年1月現在

WPIアカデミー拠点	補助金支援中の拠点
<b>【2007年度採択 5拠点】</b> 東北大学 材料科学高等研究所 (AIMR) 物質・材料研究機構 国際ナノ・マテリアル研究拠点 (MANA) 京都大学 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (IFReC)	<b>【2010年度採択 1拠点】</b> 九州大学 カーボン・ニュートラル・イノベーション国際研究所 (ICNER) <b>【2012年度採択 3拠点】</b> 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (IIIS) 東京工業大学 地球生命研究所 (ELSI) 名古屋大学 トランスフォーメティブ生命分子研究所 (ITBM)
<b>【2018年度採択 2拠点】</b> 北海道大学 化学反応創成研究拠点 (ICReDD) 京都大学 ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi)	<b>【2017年度採択 2拠点】</b> 東京大学 コーロイダル・インテリジェンス国際研究機構 (IRCNI) 金沢大学 ナノ生命科学研究所 (NanoLSI)

※10年間の支援期間終了後、更に5年間の補助金支援期間延長が認められている。